



# 緑陽

令和4年9月22日発行  
音更町立緑陽台小学校  
学校便り No. 6

## 充実の2学期に向かって

厳しい残暑もようやく落ち着きを見せ、初秋の風がさわやかに吹き渡る季節になりました。現在、北海道は新型コロナウイルス感染症の感染レベル2と位置づけられており、「北海道におけるBA.5対策強化宣言」のもと、9月1日～30日の期間、医療のひっ迫と感染の拡大を防ぐ取組を実施しています。学校としましては、衛生管理マニュアルに基づいた感染防止対策の徹底を図りながら、感染状況に応じた教育活動の充実に努めているところです。

さて、令和2年度に新しい学習指導要領が全面実施されたことにより、緑陽台小学校も学習評価の見直しを行い、前期・後期の2期制で観点別評価を行っています。

### 新しい観点別評価 ～全教科を3観点で評価する～

#### 〈観点1〉知識・技能

各教科で身につけるべきとされている知識やスキルについて十分に習得している。

#### 〈観点2〉思考・判断・表現

課題や問題に向き合って解決していく能力や、級友と協力しながら問題解決の糸口を見つけていく力など幅広い能力が身につけている。

#### 〈観点3〉主体的に学習に取り組む態度

「いかに学習を調整して、知識を習得するために試行錯誤しているか」という主体的な取り組みができています。

9月30日(金)には、前期「みどりのめ」が子どもたち一人一人に渡されます。持ち帰った「みどりのめ」は、是非、お子さんと一緒にご覧になり、よさを見つけて褒め、励まし、可能性を広げられるような言葉かけをお願いいたします。

10月からは後期となり、一年の折り返しが始まります。天高く馬肥ゆる秋…、読書、スポーツ、そして学習にと、何事にもじっくりと取り組むことのできるこの季節、しっかりと先を見据え、目標を持って取り組み、がんばったという充実感を味わうことができるよう、全教職員が一丸となり、全力で取り組んでまいります。これからも、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



## 10月の行事予定

- |        |                 |        |               |
|--------|-----------------|--------|---------------|
| 5日(水)  | 学習発表会総練習        | 17日(月) | 放課後子ども教室      |
| 7日(金)  | 学習発表会           |        | 学級経営交流会議(5時間) |
| 10日(月) | スポーツの日          | 19日(水) | 職員会議          |
| 12日(水) | 2計測、視力検査(1・2年)  | 21日(金) | 児童会総会         |
| 13日(木) | 2計測、視力検査(3・4年)  | 24日(月) | 開校記念日         |
| 14日(金) | 2計測、視力検査(5・6年)  | 26日(水) | 研修日           |
|        | 児童会、町校長会議、町教頭会議 | 31日(月) | 放課後子ども教室      |



# 〔前期〕 学校評価アンケート結果

## 確かな学力の定着

	児童	保護者	教職員
児童：学校は楽しい	4.3	—	—
「わかりやすい授業」を目指し授業方法を工夫している (児童：授業は楽しく、内容がよく分かる)	4.2	4.4	3.8
子どもたち一人一人の学力を伸ばすために努力している (児童：授業中、よく考えて、意見を発表できている)	3.6	4.3	3.8
宿題や家庭学習への取り組み方の指導を工夫し、習慣化を図っている (児童：宿題や家庭学習をしっかりとやっている)	4.2	4.5	4.0
読み聞かせや朝読書など読書活動の充実に努めている (児童：学校や家で本をよく読んでいる)	3.4	4.0	2.5
コンピュータやタブレットを授業に活用し、情報活用能力の育成に努めている (児童：コンピュータやタブレットを使う学習は楽しい)	4.7	4.5	3.2
地域の人とのふれあいや地域のよさを生かした教育活動に取り組んでいる	—	3.6	2.0

教職員は、子どもたち一人一人の学力を伸ばす努力がまだまだ足りていないと感じており、後期に向かって「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善にじっくり取り組む覚悟である。

家庭学習にしっかり取り組む児童が増え、習慣化も進んでいる。引き続き家庭と連携し、家庭学習の充実を図る。

朝の全校読書の時間を活用して読書活動の充実を図るとともに、図書館司書と連携し、親しみやすい図書室づくりや新刊本紹介などに力を入れ、読書離れを食い止めたい。

授業を中心にタブレットの活用が進み、使いこなせる児童が増え、楽しいと感じている児童も多い。

町の人材バンクを活用し、地域のよさを生かした教育活動に取り組んでいく。



## 豊かな心の育成

	児童	保護者	教職員
一人一人を大切に学級づくりを進めている (児童：友達や先生と楽しく色々なことに挑戦している)	3.9	4.3	4.1
いじめや問題行動を見逃すことなく適切に指導している (児童：友達を助け仲間外れをせず、仲よく生活している)	4.4	4.2	4.3

継続した陰湿ないじめは認知されていないが、嫌な思いをした児童はいる。「どんな理由があってもいじめは許されないこと」の指導を徹底し、児童一人一人とじっくり向き合って学級経営を進めていく。



## 健やかな体の育成

	児童	保護者	教職員
体育の授業や遊びを工夫し、子どもたちの体力向上に取り組んでいる (児童：体育や休み時間に進んで体を動かしている)	4.2	4.2	3.0
望ましい食習慣・生活習慣、健康についての指導を積極的に進めている (児童：早ね・早起き・朝ご飯に気をつけて生活している)	4.0	4.2	3.7
安全教育や安全指導を進め、子どもたちに自他の生命を守る判断力と実践的な態度を育てる努力をしている	—	4.2	3.9
子どもたちの行動に目を配り、危険防止や安全管理の徹底に努めている (児童：まわりを守り自他の安全に気をつけて生活している)	4.4	4.2	4.4

教職員は、体力テストの結果だけでは見えてこない、児童の体力低下を感じている。今後、体育授業の改善・充実を図るとともに、運動に意欲的に取り組める環境を整えていくことに努めたい。

全児童の基本的な生活習慣の定着に向け、更に家庭と連携し、指導の徹底を図っていく。

教職員は、安全教育や安全指導にこれで十分はないと考えている。今後も、子どもたちに自他の生命を守る判断力と実践的な態度を育てる努力を続けていく。



## 信頼され開かれた学校づくり

	児童	保護者	教職員
面談や懇談、通信などを通じて教育活動の様子を積極的に伝えようとしている	—	4.6	4.2
面談や懇談、連絡帳や電話などを通じて子どもの様子を相談できるようにしている	—	3.6	3.9
教室や施設設備の整備・整理整頓を進め、安全・安心な教育環境づくりに努めている	—	4.0	4.3

保護者も教職員も、子どもの様子を気軽に話し合える機会や雰囲気づくりが不十分であると感じている。更に、連絡帳や電話を積極的に活用するとともに、保護者が学校へ来る機会を大事にしていく。

町教委に古い施設設備の改修等を要望し続けながら、清掃や整理整頓を徹底し、児童の安全・安心を守っていく。